

2 財務書類 4表

(1)各財務書類の説明

名 称	概 要
貸借対照表	その団体がどれだけの資産と負債を有しているのか、現在保有している資産はどのような財源で形成されているのかを表しています。
行政コスト計算書	資産形成などを除いた1年間の経常的な行政コストを、性質別(人にかかるコスト、物にかかるコストなど)及び行政目的別(福祉、生活インフラ、国土保全など)に表しています。 また、経常的な行政コストが受益者負担等の経常的な収益でどの程度賄われているのかを表しています。
純資産変動計算書	貸借対照表上の純資産が1年間にどのように増減したかを表しています。
資金収支計算書	1年間の現金の流れを性質別(経常的収支、公共資産整備収支など)に表しています。

(2)各財務書類の関係

貸借対照表		行政コスト計算書	
資産 4兆6,664億円 100.0%	負債 1兆 510億円 22.5%	経常行政コスト 3,963億円	
公共資産 4兆3,439億円	固定負債 9,201億円	人にかかるコスト 1,020億円	
投資等 1,990億円	流動負債 1,309億円	物にかかるコスト 1,026億円	
流動資産 1,235億円		移転支出的なコスト 1,756億円	
うち歳計現金 119億円	純資産 3兆6,154億円 77.5%	その他のコスト 161億円	
		-	
		経常収益 245億円 (使用料などの受益者負担)	
		=	
		純経常行政コスト 3,717億円	
資金収支計算書		純資産変動計算書	
期首歳計現金残高 77億円		期首純資産残高 3兆5,670億円	
+ 当年度増減額 42億円		- 純経常行政コスト 3,717億円	
経常的収支 1,056億円		+ 一般財源・補助金等受入 4,174億円	
公共資産整備収支 243億円		+ 臨時損益・資産評価替等 27億円	
投資・財務的収支 771億円		=	
= 期末歳計現金残高 119億円		期末純資産残高 3兆6,154億円	

数値は平成20年度